

わかくさ

学 校 通 信

青梅市立若草小学校

令和5年7月21日

第817号

1学期を終えて

副校長 宮部 吉一

5月に新型コロナウイルス感染症が五類に引き下げられ、約4年ぶりに通常どおりの教育活動を行うことができるようになりました。しかし、感染症が無くなったわけではありませので、教室の換気や子供の手洗い、うがいなど感染症対策に注意を払う毎日でした。とは言え、宿泊行事や社会科見学、音楽鑑賞教室、ゲストティーチャーによる授業等々、大きな制約がなく実施できることに、子供たちも教員も大喜びでした。これからも子供たちにとってより良い活動になるよう工夫してまいります。保護者の皆様には、教育活動に多大なご理解ご協力をいただきました。ありがとうございました。

さて、明日からいよいよ子供たちが待ちに待った夏休みになります。夏休みは、子供たちにとって宿題は気になるものの、何かしらの楽しみが満載の毎日だと思います。しかしその一方で約1か月半にわたる自由な時間をいかに過ごすかは各人に任されており、「自ら考え、判断し、行動する」ことが求められるという一面もあります。

夏休みが近づくと様々なコンクールのお知らせが学校に届きます。その中に「貯金箱コンクール」というものがありました。そのお知らせを見てとても懐かしく思いました。私は、小学生の頃に1年生から6年生まで、毎年このコンクールに応募していました。最後まで入賞することができず、結局参加賞を六ついただきましたが、夏休みの思い出としてとても記憶に残っています。1年生の時には、行き当たりばったり作っていたのが、6年生では、どう工夫するかを考え、計画書を作り、材料を集め、作るようになりました。この活動から多くのことを学んだなと思います。

学校からご家庭にお知らせできるものは一部ですが、インターネットで調べれば、多種多様なコンクールがあります。何かのきっかけになることもあります。夏休みの活動の参考にいただければと思います。一つ「青梅市図書館を使った調べる学習コンクール」を紹介します。3年生以上は、宿題となっていますが、自由にテーマを設定し、図書館の本を使って調べ、それをまとめて作品にするものです。毎年若草小の多くの子供たちがこのコンクールで表彰を受けています。

夏休みは、自分で自分の生活をより豊かにするチャンスです。普段行けない所に行ったり、いつもできないことをしたりすることもできます。自分の好きなことは、様々な体験や経験から生まれます。子供たちには、何事もチャレンジする努力をして欲しいと思います。保護者の皆様には、子供の興味や意欲が見られた時には、背中をそっと押し、子供に芽生えた「やる気」を支援していただければと思います。

ところで夏休み中、子供たちが事件や事故に巻き込まれることが心配されます。学校でも指導いたしました。児童に配布しました「夏休みの生活指導」をもとに、規則正しく健康に、そして安全な生活を送ることができるよう、ご家庭でもよくお子様と話し合ってくださいますようお願いいたします。そして2学期の始業式には、夏休みを経て、一回り成長してたくましくなった子供たちに会えることを楽しみにしています。